

文部科学大臣賞を受けた「味彩祭」と大  
濱華純さん「大牟田市不知火町2丁目」



九州青年美術公募展 25日まで福岡

# 厚み感じる情景描写「味彩祭」最高賞

熊本 崇城大の大濱華純さん

九州地方の新人・青年作家の優れた才能を発掘し、地方美術の振興につなげる第47回九州青年美術公募展が25日まで、福岡県大牟田市の大牟田文化会館で開かれている。最高賞の文部科学大臣賞には、熊本市の崇城大3年、大濱華純さん(21)の「味彩祭」が選ばれた。

味彩祭は、北九州市若松区の商店街を描いた日本画。制作に

7カ月をかけたという大濱さんは「(この公募展の)出品者は若い方が多く、新しいものを生み出す力は強い。負けないように感性を出そうとしました」。審査員からは「情景描写が暖色系で整えられている」「日常生活の風景がよく描かれている」「厚みを感じられる」などの講評が寄せられた。

公募展は大牟田市文化振興財

団の主催で、朝日新聞社などが後援。今回は福岡、熊本、佐賀など6県の116人から126点の応募があった。116人の内訳は高校生104人、大学生7人、一般5人。会場には入選作品64点を展示し、入場無料。初日の19日には表彰式の後、審査員と作者との懇談会もあった。

(西田慎介)

2023年11月21日 朝日新聞 P.22